

メッセージアウトライン

ローマ 8 : 10~17 「キリストとの共同相続人」

[10]「もしキリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています」

「霊が義のゆえに生きている」。これはキリストによって神の前に義とされることによって、霊的に新しく生まれたものとされているという意味。

[11]「もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、あなたがたのうちに住んでおられる御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてくださるのです」

「御霊」、「キリスト・イエス」、「…よみがえらせた方（神）」ここに三位一体の神が現されている。神に逆らう肉の性質と罪のゆえに、本来ならば裁かれて滅びるべきこの肉体的実在を神は御霊の力によって生かしてくださるのである。

[12-13]「ですから、兄弟たち。私たちは、肉に従って歩む責任を、肉に対して負ってはいません。もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬのです。しかし、もし御霊によって、からだの行いを殺すなら、あなたがたは生きるのです」

キリスト・イエスによって罪贖われた者は、もはや肉に従って歩む責任はない。肉に従って歩むのではなく、御霊によって歩むときに、新しい生き方ができるのである。

御霊による歩み→ガラテヤ5:16~26

[14-15]「神の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです。あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、『アバ、父』と呼びます」

御霊（聖霊）に導かれ、キリスト・イエスを信じる者とされた者は、神を「アバ、父」と呼ぶことのできる神の子どもとされる。もはや罪の奴隷、肉の奴隷ではない。

→ガラテヤ4:6~7 「アバ」とはアラム語で「父」のこと。

[16-17]「私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、あかししてくださいます。もし子どもであるなら、相続人でもあります。私たちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人でもあります」

キリストを信じる者は、与えられた御霊によって、自分が神の子どもであることを知り、その自覚を持つ。「共同相続人」とは一つの財産を共同で相続する者のこと。

キリスト者は将来の栄光をともにするために、キリストとともに、重荷を負い、苦難をともにしている者であり、キリストとの共同相続人なのである。これは神の子どもとしての素晴らしい特権である。